

# 4月1日(日) 第一コミセン リニューアルオープン!

第一地区コミュニティセンターは、社会福祉協議会の事務所やボランティアルームなどを新たに整備し、子供からシニアまで幅広い世代が共に学び、支え合う「学びと福祉の拠点」に生まれ変わりました。

問い合わせ はつらつ協働課 ☎24・8397

## クッキングスタジオ

IHクッキングヒーターを組み込んだ調理台を設置。料理教室など食育を通じた交流の場となります。



◀調理台の高さは調整可能

## ほかにも多機能なスペースなどを整備

- ・1階エントランスには、打ち合わせや休憩など気軽に利用できる「オープンカフェスペース」を新設
- ・板間の和室を併設した「はつらつルーム」は車椅子のままでも利用可能
- ・障がいを持った人や小さな子供連れでも安心の「マルチトイレ」を整備
- ・環境に優しいLED照明、個別空調で更に快適



休館日、管理者が変わります。

## 第一地区コミュニティセンター

白江町ツ108番地1 ☎23・2414  
 開館時間 9時～22時(予約受付は9時～17時)  
 休館日 5月3日～5日、8月14日～16日、  
 12月29日～1月3日  
 利用料金 午前、午後、夜間各200円/室  
 ※別途空調利用料が必要  
 指定管理者 小松市社会福祉協議会

## アトリエ

幅広い世代の創作活動に利用できます。新たにお絵描きボードを整備しました。



壁いっぱい絵が描けておもしろーい♪

## バス停を新設

4月1日から市内循環バス「こまち」が、第一地区コミュニティセンターに乗り入れし、アクセスが便利になります。

運賃 一律150円(一部250円区間あり)



問い合わせ  
市民サービス課 ☎24・8217

主なバス停の発着時間 ※一部、バス停を省略しています。

### ■ブルーこまち(南コース)

小松駅	小松郵便局前	第一小学校前	第一地区コミュニティセンター	荒木病院前	千松閣	南浅井町	市民病院	小松駅
8:53	8:56	9:01	9:03	9:08	9:21	9:39	9:50	9:57
11:15	11:18	11:23	11:25	11:30	11:43	12:01	12:12	12:19
13:40	13:43	13:48	13:50	13:55	14:08	14:26	14:37	14:44
16:02	16:05	16:10	16:12	16:17	16:30	16:48	16:59	17:06
18:30	18:33	18:38	18:40	18:45	-	18:57	19:08	19:15

### ■オレンジこまち(南コース)

小松駅	市民病院	南浅井町	千松閣	荒木病院前	第一地区コミュニティセンター	第一小学校前	小松郵便局前	小松駅
9:55	10:01	10:11	10:31	10:42	10:46	10:49	10:53	10:59
12:20	12:26	12:36	12:56	13:07	13:11	13:14	13:18	13:24
14:45	14:51	15:01	15:21	15:32	15:36	15:39	15:43	15:49
17:10	17:16	17:26	-	17:38	17:42	17:45	17:49	17:55



# みんなが安心して暮らせる まちをめざして

問い合わせ ふれあい福祉課 ☎24・8052

市内には障がいのある人が約7,600人暮らしています。障がいのある人もない人も互いに支え合い、安心して暮らせるまちを目指して「第6期こまつ障がい者プラン(計画期間：平成30年度から3年間)」を策定しました。

## 3つの計画を一体にしたプラン

こまつ障がい者プランは、障がいのある人の自立と社会参加の推進を図るための基本理念や方針、数値目標などを定めた「障がい者計画」「障がい福祉計画」のほか、障がいのある児童への支援などを盛り込んだ「障がい児福祉計画」を一体とした計画です。

### 【基本理念】

すべての人があんしんして暮らせる共生のまちへ

### 【基本方針】

- ◆障がいの理解促進と市民共創による共生のまちづくり
- ◆療育・教育の充実と自立の実現に向けた支援
- ◆障がいのある人の健康と日々の暮らしを守る



## 市独自の目標を設定

施設入所者の地域生活への移行などを定めた国の目標に加え、小松市独自の目標を設定することで、やさしいまちづくりを更に推進していきます。

### 【市独自目標】

- ◆共生のまちづくり  
障がいについての理解を深めるため、障がいのある人が小・中学校などへ出向き講師となる「障がい者ふれあい事業」を促進します。
- ◆一般就労の促進  
ハローワークなどと連携しながら障がいのある人の一般就労を促進し、経済的自立を図ります。
- ◆子供への早期支援体制の推進  
発達に課題のある子供への早期支援対応を行うため、保育士の発達支援研修などを通じて専門知識を持つ人材を育成します。

※プランの詳細は、市ホームページで閲覧できます。



▲音声コードを初採用。スマートフォンなどの専用アプリで、内容を音声で聞くことができます。



▲児童・生徒が様々な障がいのある人から直に話を聞きます(障がい者ふれあい事業)

アルバイトの後輩に仕事を教えたり、清掃業務でお客さんから感謝の声をいただいたりするなど、とてもやりがいを感じます。



働いて11年目  
加藤英夫さん  
一般企業(飲食店)で